

NEWS (PRESS) RELEASE

令和元年11月25日

志摩市政策推進部 SDGs 未来都市推進室
産業振興部 水産課

“エシカルパール”の取り組みが志摩市で始まります！

概要



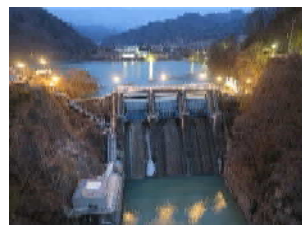
“エシカル”は、“倫理的”という意味で、多くの人々が正しいと感じる社会的規範を意味します。最近では、人や社会、環境、地域に配慮した考え方や行動のことを指すようになり、こうした配慮を踏まえた消費活動を“エシカル消費”と呼び、世界の潮流になっています。

志摩市は、SDGs 未来都市として豊かな自然環境を保全しつつ、自然の恵みを持続可能な形で利用することで「住んでよし、訪れてよしの志摩市」づくりに向けたさまざまな取組を進めており、平成31年1月30日に神奈川県で開催された「SDGs 全国フォーラム2019」に竹内市長が出席した際、長野県の中島副知事（当時）との間で、「志摩市の真珠養殖に長野県で発電した電力を供給し、双方の地域をつないで持続可能なまちづくりを進めましょう」という話し合いが行われたことを契機として今回の取組が始まりました。

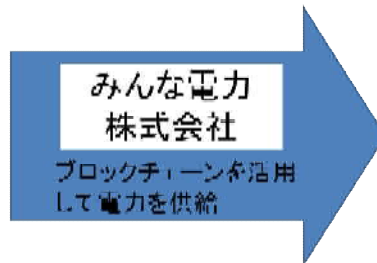
取組の目的

志摩市の真珠養殖の現場では、地球温暖化に伴う海水温の上昇などの影響を受け、年々養殖作業が困難な状況になっています。温暖化を抑制するため、パリ協定に基づく温室効果ガスの排出削減に向けた取組が求められていますが、長野県とのつながりを契機として、志摩市でも真珠の養殖に再生可能エネルギーを導入し、SDGs 目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標13「地球温暖化の防止」や目標14「海の豊かさを守ろう」といった環境面での目標や、目標12「作る責任・使う責任」の達成に貢献しつつ、持続可能な真珠養殖のファンを増やしていくことを目的としています。

取組の概要



長野県企業局
高遠さくら発電所



志摩市の真珠
養殖作業場

長野県企業局の「高遠さくら発電所」で発電された電気を、ブロックチェーンの技術¹を用いて電力の生産者がわかり、そのストーリーを感じることができる電力小売サービスを行っている「みんな電力株式会社」の協力を得て志摩市の真珠養殖作業場に供給します。

1：インターネット上に暗号化した台帳を作成し、取引を記録する技術のこと

今回の取組に参加している真珠養殖作業場での平均的な電力使用量²は、年間約3,000kWhほどで、この電力を再生可能エネルギーに転換することにより、年間1,370キロの二酸化炭素の排出が抑制³されることになります。

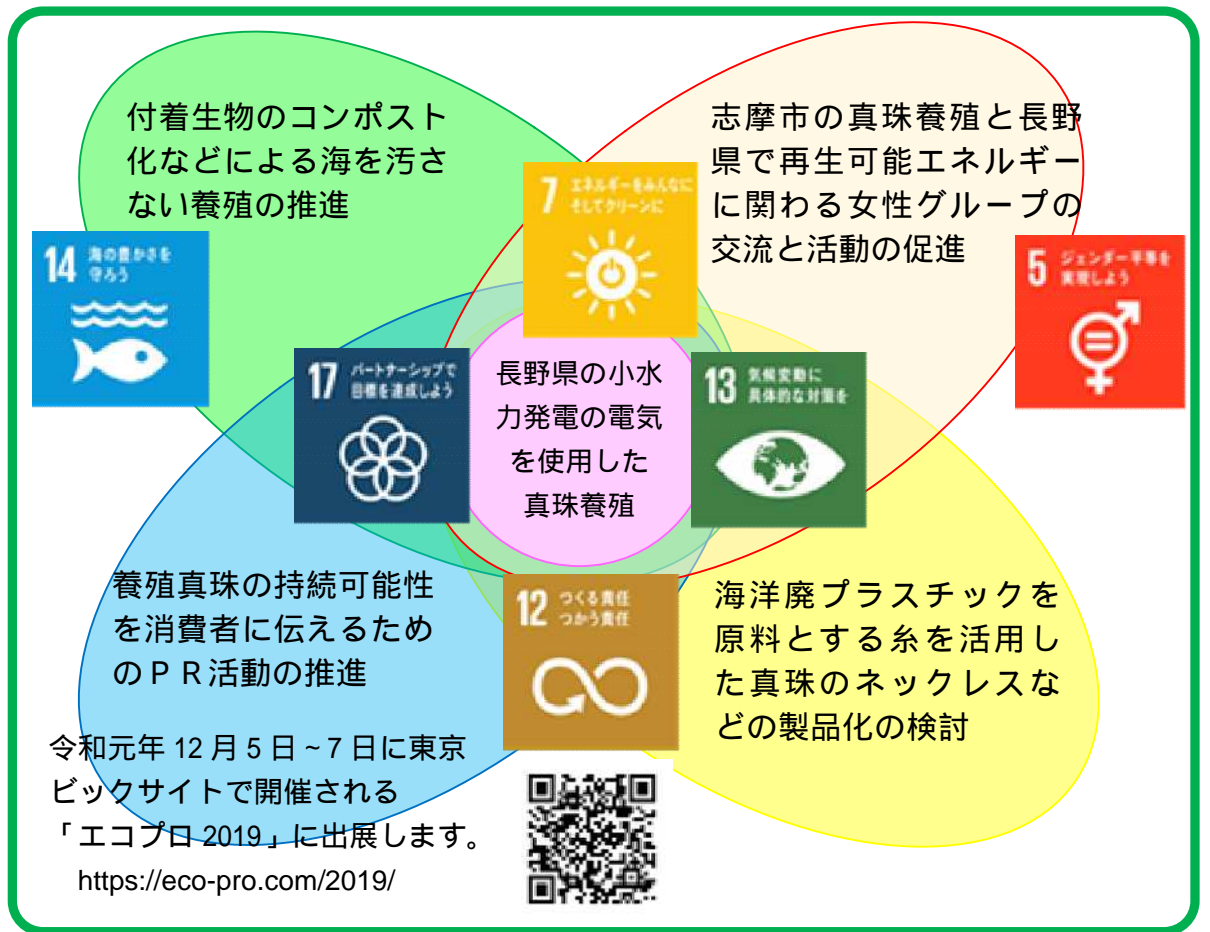
日本では、二酸化炭素に換算して年間14億トンを超える温室効果ガスが排出⁴されており、この取組による一人一人の効果はとても小さいものですが、SDGsの理念である**パートナーシップで目標の達成を目指す(目標17)**ことにより目標7、12、13、14などの達成に寄与します。

2：取組に参加している真珠養殖作業場の年間電力使用料から算出。

3：2018年度の中部電力におけるCO₂排出の原単位である0.458kg-CO₂/kWhを基に算出。

4：「地球温暖化対策計画」(平成28年5月13日閣議決定)による。

また、今回の「持続可能な真珠の養殖」の取組を核として、今後次のような取組を展開することで、持続可能なまちづくりを進めていきます。



お問合せ先

志摩市政策推進部SDGs未来都市推進室
TEL 0599-44-0206 FAX 0599-44-5252
e-mail : sdgs@city.shima.lg.jp

志摩市産業振興部水産課
TEL 0599-44-0289 FAX 0599-44-5262
e-mail : suisan@city.shima.lg.jp